

## Librecs (Live Behavior event Recording System)

Librecs をダウンロードいただきありがとうございます。

Librecs は行動分析分野での行動記録のために開発されました。あらかじめ設定したキーを押すと、記録時間中にそれらのキーが押されたタイミングとインターバル内で押された回数等をエクセルワークシートに出力します。インストールは、アイコンをダブルクリックするだけで OK です。

行動の記録時間は 30 秒、記録可能な行動・イベントは 3 種類ですが、有償のユーザー登録により記録時間は 3600 秒、行動・イベントは 10 種類に拡張されます(未登録の場合はエラーが発生します)。

### 使用上の注意

- ・ 本プログラムの使用にあたっての全ての責任は使用者に帰属することとします。
- ・ 本プログラムの不備や改善要望があれば作者まで連絡願います。
- ・ ユーザー登録の有無や有償無償を問わず本プログラムの複製、譲渡、貸与、公開について制限はありませんが、リバースエンジニアリングにより得られたソースコードに関する情報の公開は禁じます。
- ・ 本プログラムは予告なく仕様を変更することがあります。
- ・ 使用者はこのプログラムのインストールにより、上記の事項に同意したとみなされます。

### 使用環境

Windows XP/エクセル 2000、Windows 7/エクセル 2007 の組み合わせで動作確認済みです。複数のバージョンのエクセルがインストールされている場合や全くされていない場合はエラーが発生します。

### 使用方法

#### A. プログラムの操作方法

1. 起動するとユーザー登録されている場合は「This program has been registered.」、されていない場合は、「This program has not been registered.」と表示される。
2. Participant's ID (参加者 ID)、Session No. (セッションナンバー)、Condition (条件、ベースライン、介入等)、Observer's ID (記録者 ID)、Session Date (記録日、自動設定、変更可能)を入力。Session No.は半角英数のみ入力可能。その他は文字(日本語入力可)や数字を入力すること。
3. 以前に Participant's ID などのデータを入力し保存している場合は、Load Parameters を押すとファイルから読み込むことができる。ただし Session No.はファイルを読み込んだ場合も入力する必要がある。必要に応じて入力項目の変更を行い、Set と Check Keys を押して確定させる(保存していない場合は4へ)。
4. Interval Length (インターバルの長さ)を 6 秒、10 秒…から選択。
5. Session Duration (セッションの長さ)は秒単位、3600 (1 時間)以下で入力(半角英数でのみ入力可)。
6. Keys to Hit は入力に使用するキーを入力。例えば a, b, c のキーを使う場合は、abc と入力。最大 10 キーまで使用可能。原則として特殊キーを除く半角英数文字を入力すること。漢字を含む日本語の使用も可能だが、記録中に変換および確定しなければ入力を受け付けない(例えば、キー設定を「要求」とし、記録中に「要求」と入力した場合は「要」と「求」のキーが一回ずつ押されたと記録される)。また同じキーを二回以上入力した場合(例、abcab)、一つ目のキーだけが使用される(例、a を

- 二回押した場合は、一つ目の a を二回押したと記録され、二つ目の a は 0 回と記録される)。
7. Beep every interval's end にチェックすると、インターバルが終わる度にブザーが鳴る。
  8. Set を押すと上記1から5のステップまでの入力内容が確定。数字を入力すべきところに文字の入力があるなど入力が不適切な場合には表示が Error に変化する。その場合は Reset を押し再入力。
  9. Key Counter の枠内で入力に使用するキー (Keys to Hit で設定したキー) について打数かオン・オフ表示を選択。On/Off にチェックマークを入れると一回キーを押すごとに表示が On と Off で変化する (例、着席時は On で離席時は Off)。初期設定は「Off」。チェックなき場合はセッション中にそのキーが押された回数を表示する。設定したキー右側のテキストボックスにはキーを押す対象となるイベントを入力できる。例えば a のキーには「叩く」、b のキーには「万歳しての指示」など。Save Parameters で保存されるが入力は任意 (入力しなくてもよい)。
  10. Check Keys を押すと入力内容が確定。Save Parameters で入力内容を保存できる (保存しなくてもよい)。Save Parameters を押しても保存しなかった場合は「Parameters were not saved.」と表示される。
  11. 上記のステップでの入力内容について訂正の必要がある場合は、Reset を押すこと。
  12. Start を押すと記録開始。
  13. 設定されたキーを押すと6と9の設定に従い On/Off 表示もしくは打数が変化する。また Last Key Being Hit には最後に押されたキー (設定されていないキーを含む) が、Number of Key Hit にはキーが押された回数 (設定されたキーのみ) が表示される。Time には記録開始時からの経過時間が、Interval には現在のインターバルが表示される。ESC 以外の特殊キーの一部を押すと、プログラムは停止しないがウインドウからフォーカスが外れて入力を受け付けなくなる事や日本語入力モードになる事がある。フォーカスが外れた場合はプログラムウインドウをクリック、日本語入力モードになった場合は「半角／全角漢字」キー (もしくは同様の機能をもつキー) を押すと復帰する。
  14. Esc キーを押すと記録は中止される。再開する時は Resume を、中断する場合は Terminate を押す。
  15. Session Length で設定した時間が経過すると自動的に記録が停止する。データを保存する場合は Save Data 枠内の Yes を押す。保存しない場合は No を押す。Terminate を押した場合も同様。
  16. Yes を押すとエクセルが起動しデータが書き込まれる。「名前をつけて保存」の画面が出るので適当な名前を入力し希望のファイルに保存する。ファイル名項目には「参加者 IDーセッションナンバー 条件ー記録者 ID」が自動的に入力されるので必要に応じて変更する。保存した場合はエクセルは自動的に閉じる。Yes を押しても保存しなかった場合は「Data were not saved.」と表示される。
  17. Confirm を押すと処理が終了し1の状態に戻る。Session No. については 1 を加えた数字に変化しますが、それ以外は前回の記録時のままである。
  18. プログラムを終了するにはウインドウ右上の×印を押す。

## B. エクセル出力のデータについて

1. Session Parameters の枠内で設定した内容 (ただしブザー音の設定は除く)、記録を開始した時間、記録が終了するまでの経過時間 (Session Finished at ○:○)、もしくは中断するまでの経過時間 (Session Terminated at ○:○ (カッコ内は中断されたインターバル番号)) が出力される。
2. All Entry の下には記録開始 (Started) から終了 (Session Finished) までの間に押されたキー (設定したキーのみ) が出力される。Time は開始からの経過時間、Entry は押されたキーを示す。記録中に中断した場合には Session Paused が出力される。
3. Interval Data は各インターバル内にそれぞれのキーが押された回数等が出力される。
  - Interval #はインターバル番号

- Key は入力に使用したキー
  - Behavior は各入力キーに対応したイベント
  - Mode は A9 で選択した Hits もしくは On/Off の表示
  - Full int'l % は、常時 ON であったインターバルの割合 (全インターバル記録法)
  - Part. int'l % は、一時でも ON であったインターバルの割合 (部分インターバル記録法)
  - RPM は、キーの押された回数を観察時間で割り60をかけた数字 (1 分あたりの生起回数)
  - Interval % は、キーが押されたインターバルの割合 (生起インターバル)
  - Interval # 以下の数字は、
    - On/Off を選択した場合は、インターバル内で一度も OFF にならない場合は2 (全インターバル記録法の ON)、インターバル内で一度も ON にならない場合は0 (全インターバル記録法の OFF)、インターバル内で一度でも ON になれば1が出力される (部分インターバル記録法の ON)。
    - Hits を選択した場合はインターバル内でそのキーが押された回数が出力される。
    - 記録が中断された場合は中断されるまでのキー操作が記録される。中断以降の回数については空白が記録される (0ではない)。
4. エクセル形式以外でのデータ出力は設定されていない (エラーが発生する)。

#### C. Session Parameters のデータファイルについて

1. Save Parameters で保存されるデータはテキストファイルであり、その内容はメモ帳、ワードパッド、ワードなどで編集等が可能。ただし内容が変更された場合は本プログラムが読み込めない場合がある。
2. 他のテキストファイルと区別するために、拡張子をpとしている (例、KansasJayhawks.p)。この拡張子を変更すると本プログラムでは使用できなくなる。

#### D. その他

1. 本プログラムを実行すると自動的に Registration.d というファイルが実行ファイルと同じ場所 (フォルダー) に作成される。ユーザー登録後にこのファイルの削除や内容と名前の変更を行うと登録無効になる (プログラムの保存場所を変更する場合は、Registration.d も同じ場所に移動すること)。
2. 本プログラムで設定される記録時間に誤差が生じる可能性があるので、長時間の記録は避けること。
  - 記録時間 5 分で 3 回試験した結果は、5 分 1 秒 08、5 分 2 秒 12、5 分 2 秒 51。
  - 記録時間 10 分で 3 回試験した結果は、9 分 59 秒 76、10 分 1 秒 00、10 分 2 秒 70。
  - 記録時間 20 分で 3 回試験した結果は、20 分 5 秒 73、20 分 7 秒 06、20 分 11 秒 14。
  - (1 インターバル 6 秒、3 行動・イベントキーをセミ・ランダムに入力し計測)
3. 実行ファイルと Registration.d を削除すれば、本プログラムは削除される。
4. 記録中ウインドウがフォーカスを失うと入力は無効になるので、同一パソコン上で動画再生しながら記録する場合などは注意すること (再度本プログラムのウインドウ上でクリックすると復帰する)。

#### ユーザー登録について

1 登録 2,000 円で、本プログラム2部まで登録可能とします。3 部目以降も 2 部毎に 2000 円とします。登録ご希望の方は作者まで連絡願います。なお未登録の場合の制限を超えた設定 (記録時間等) によるエラー以外のエラーが発生する場合は、登録しても解消されませんので、十分動作確認を行ってください。

1. Register を押すと、新しいウインドウが表示されるので、Get the Code を押すと上側のテキストが

ックスに表示されるコードをメールにて作者まで送信して下さい(複数登録の場合は「1台目○○、2台目△△」等と明記のこと)。

2. エラーが発生した場合は、Registration.d(実行ファイルと同じ場所に自動的に作成されたファイル)を添付して送信するか、「メモ帳」で開いて内容を送信して下さい。
3. お支払いが確認されたら、折り返して新しいコードをメールで送信します。
4. コードが送信されたら、Registration ウィンドウの下側のテキストボックスに貼り付けて OK を押し、Reg.Check で確認して下さい。こちらから送信した以外のコードを貼り付けたり空白のままで OK を押さないで下さい。

#### 参考文献等

- VB レスキュー (花ちゃん) <http://hanatyan.sakura.ne.jp/>
- Visual Basic 中学校 <http://homepage1.nifty.com/rucio/main/main.htm>
- Tatsuya's Home Page VB6 マニュアル <http://www.red.oit-net.jp/tatsuya/vb/index.htm>
- VisualBasicパーフェクトマスター 金城 俊哉／著 東京:秀和システム

#### 作者の連絡先

ハシモトまでメールにてお願いします(hashimotokazunari@yahoo.com)。

以上